

Hamamas

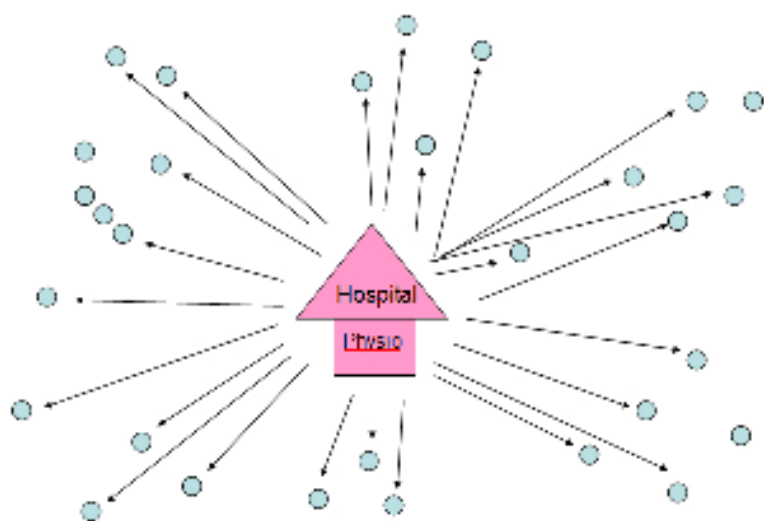


July / 2010

Now mi stap long Kokopo. Long Kokopo,
I gat planti nature na gutpela si na
naispela kalsa. Olsem na mi laikim tokim
yupela long Papua New Guinea. Olsem na
mi mekim sampela toksave long Hamamas.
Sapos yupela i gat laik long Papua New
Guinea, bai mi Hamamas. Tenkyu tru.

こんにちは。私の活動も残すところ半年を切りました。今回は現在行っている私の活動の一部を報告させていただきます。先日、病院、ヘルスセンタースタッフ、その他のスタッフ（カランサービス、看護学校）を対象に理学療法に関するワークショップを1週間行いました。ワークショップをやった経緯として病院内、また地域のヘルスセンタースタッフにもっと理学療法を知ってもらうこと、またそれぞれとネットワークを作っていきたいと思ったからです。さらに現在、病院で行っている訪問リハビリの現状、問題点を知ってもらい、今後の訪問リハビリの展開についての話もしたかったからです。以下に訪問リハビリの事、ワークショップ内容について話していきたいと思います。

① 現状の訪問リハビリ

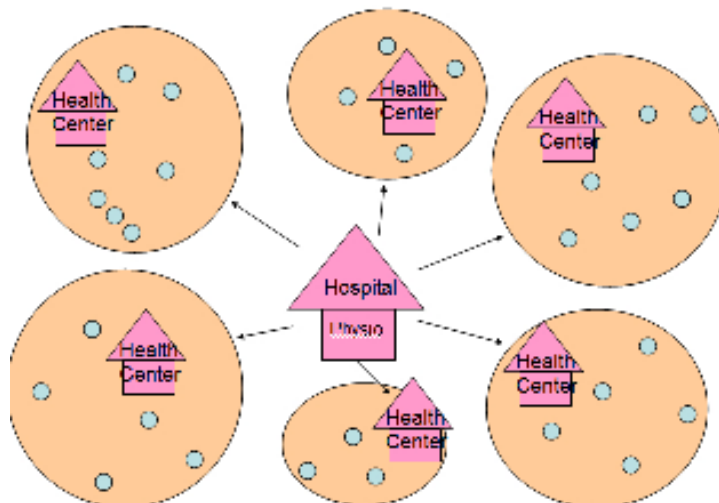


現在、病院をベースに様々な地域へ訪問リハビリに行っています。問題点として、

- 1 : 訪問リハビリの患者さんが多い
- 2 : 地域にどのくらいの障害者がいるのか把握できていない
- 2 : マンパワーが足りない
- 3 : 病院の車が使える時間が限られている

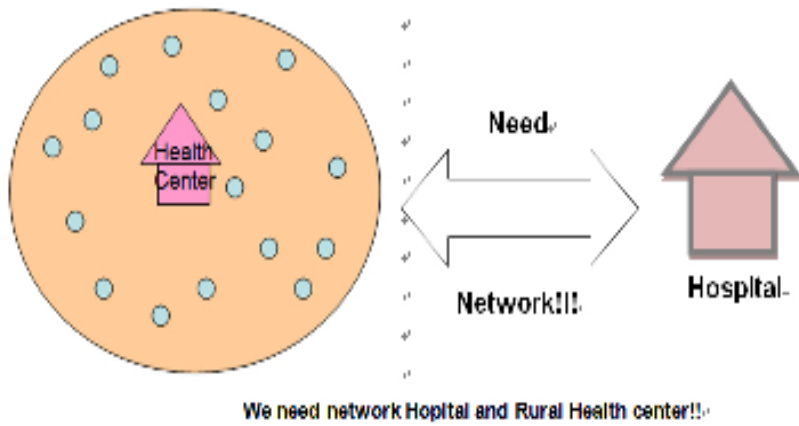
などがあります。そのため、定期的に患者さんを診療することが難しくなっているのが現状です。

② 将来的な訪問リハビリ（私見）



将来的にはヘルスセンターを中心としたリハビリを展開できたらいいのではないかと思います。（私見）

その地域の障害者の方をその地域のヘルスセンター中心に管理（リハビリ等も含め）できたら、現状の問題点が解決できるのではないかと思います。



まずは地域のヘルスセンターとネットワークを作ることから始めていきたいです。そして定期的にヘルスセンターへ診療に行くこと、ヘルスセンターにその地域の障害者を把握してもらうこと、ヘルスセンタースタッフに理学療法のスキルを伝達する。病院にヘルスセンタースタッフを研修生として招き、理学療法を伝達するなどしていきたいと思っています。

ワークショップについて

ワークショップでは、理学療法についての講義、グループディスカッション、実技（エクササイズ）など中心を行いました。中でも実技の時にはみんな特に興味を持って楽しくできました。



理学療法の講義



グループディスカッション



松葉杖での階段練習



病棟での実技（ポジショニング）



実技指導（患者さんと）



ワークショップ後の写真

（おわりに）

今回は私の活動の一部を紹介させていただきました。活動を通して日々様々な問題が出てきます。その問題点に対してどのように活動を進めていけばいいのか考えさせられる事が多いです。いくら待っても状況は変わりません。現地スタッフと共に考え、まずは思った事を実行することが大事だと思います。自分達が行動することでそれに対する周りの反応、結果を得られるからです。その結果を踏まえ、良い事は続けていき、また誤った事はまた別の方法を考えるなどの試行錯誤が必要だと思います。このような考えはボランティア活動を通して感じました。あと私の活動は少しですが、できる事からチャレンジしていきたいと思っています。

(31/July/2010)

St.Mary's Hospital Vunapope Physiotherapist HIROTAKA YAMAMOTO JICA VOLUNTEER